

平成26年度
十七字のふれあい事業
入賞作品集

かな
～奏でよう 十七文字で 心の和～



主催 福島県教育委員会

最優秀賞

うれしいな ペダルをこいで さあいこう
(まふね ひな・西郷村立熊倉小学校1年)

春からの 練習みのり 風になる
(真船実知代) <子と母>

母さんに ほめられたくて おせんたく
(小木 聖也・玉川村立川辺小学校3年)

助かるなあ あとでこっそり 干し直す
(小木奈津子) <子と母>

パパの手を ぎゅつとにぎって 山手線
(前田 カ・相馬市立中村第二小学校3年)

夢叶う 息子と二人 男旅
(前田 修) <子と父>

父笑顔 母直伝の ハンバーグ
(石田菜々弓・いわき市立小名浜第一中学校1年)

気がつけば 娘の手料理 妻の味
(石田 正彦) <子と父>

異国にて 家族思いし メール打つ
(宮本 歩美・中島村立中島中学校3年)

旅だたせ 指折りかぞえ 娘待つ
(宮本 寿子) <子と母>

優秀賞

ふたあけて ゆげでへんしん わたしシェフ
(佐久間優風・本宮市立本宮小学校1年)

今日は助手 シェフの隣りで 下準備
(佐久間恵理子) <子と母>

たづな持ち 暑さにたえて 貝をふく
(伏見 凌雅・南相馬市立石神第二小学校4年)

汗ぬぐい 貝吹く姿 勇ましく
(伏見さやか) <子と母>

おばあちゃん 背中はおくが 洗うから
(菊地 卓斗・福島市立庭坂小学校6年)

不自由な 腕に気遣う 孫優し
(菊地ヨシイ) <孫と祖母>

一歩ずつ 進んだ先は 雲の上
(大友 綾乃・いわき市立植田小学校6年)

励まし合い 家族で拜んだ ご来光
(大友由起恵) <子と母>

山寺の 石段駆ける 空近し
(根本 悠平・いわき市立磐崎中学校2年)

山寺を 駆ける息子の 背を追えず
(根本 雅子) <子と母>

佳作

おかあさん さわってみてよ カブトムシ

(泉 和希・中島村立中島幼稚園年中)

ほんとはね 苦手なんだよ 夏の虫

(泉 美衣)

<子と母>

しゃぼんだま わたしもそらを とびたいな

(大平 陽菜・いわき市立内町小学校1年)

ふわふわと こどものえがお おおぞらに

(大平 祥子)

<子と母>

魚つり 魚もじいも 一人じめ

(生亀 奏・南会津町立田島小学校3年)

山と川 孫との距離が 縮む場所

(小椋 辰雄)

<孫と祖父>

工作は まかせて父の DNA

(鈴木 陽太・西郷村立小田倉小学校4年)

血が騒ぎ ついつい手が出て 叱られる

(鈴木 宣弘)

<子と父>

父さんと せなか合わせて せいくらべ

(中島 海斗・矢吹町立善郷小学校4年)

子が抜かす 古い私の 柱傷

(中島 浩平)

<子と父>

オニヤンマ 二人の間 すりぬける

(金田 匠斗・会津美里町立宮川小学校6年)

とんぼとり 父もひととき 少年に

(金田 和紀)

<子と父>

母と子の 服を貸し借り 節やく家

(庄司 優花・飯館村立飯館中学校1年)

気が付けば 背たけ同じに なった夏

(庄司 麻希)

<子と母>

祖父あげる ロケット花火に 大歓声

(江口 実那・いわき市立平第三中学校1年)

帰省して 我が家に笑顔と 花火咲く

(江口 和久)

<子と父>

墓磨き 祖父の背中を 洗うよう

(鈴木 雄大・西郷村立川谷中学校2年)

亡き父を 想う息子に 涙ぐむ

(鈴木 康司)

<子と父>

進路決め やっぱり母の そばがいい

(目黒 勇也・福島県立新地高等学校3年)

涙でる 我が子が一番 いつまでも

(目黒 文江)

<子と母>

[審査員]

安部 光夫 (福島県体育協会)
佐藤 秀美 (教育庁教育総務課)
増子 春夫 (教育庁義務教育課)



審査員講評

今年度は37,749組、75,498人というたくさんの応募が寄せられました。

審査は、五・七・五の十七音を基本とした作品になっているか、共通体験に基づいているか、それぞれの作品が呼応しているか、情景が浮かんでくるかなどを基準に行いました。

親と子、祖父母と孫、兄弟姉妹など、家族間の共通体験をとおして、家族のふれあいが生き生きと表現されている作品や喜び、感動などの心の響き合いを詠んだ優れた作品が多く、とても感銘を受けました。

特に、以下の4点が優れていました。①子どもが真剣に取り組んでいる姿を、周囲の大人が温かく見守っている作品が多く、読む者の心を和ませてくれました。②キラリと光る言葉や対句的な表現の技法など、リズム感があり引きつけられました。③二人の共通体験を少しずつ異なった表現で表しており、その微かな違いが重なり合って二人の絆をより強めていました。④短い言葉に思いを詰め込んだ作品や、情景だけでなくお互いの心情まで十分伝わってくる作品が多く、言葉のもつ力を感じることができました。

このようなすばらしい作品が多数生まれる家族の絆や土台がしっかりと育まれていることは、本県の復興のための一助となると確信しております。

これからも、様々な共通体験や作品づくりをとおして、子どもたちが健やかに成長することを願っています。

[審査員 一同]

平成26年度「十七字のふれあい事業」

入賞作品集



ふくしまから
はじめよう。

発行 福島県教育委員会

問合せ先 福島県教育庁社会教育課

〒960-8688 福島市杉妻町2-16

電話 024-521-7799

FAX 024-521-7974

ホームページアドレス

<http://www.syakai.fks.ed.jp/>

発行日 平成27年1月6日